

議会だより

福島県中島村議会



〈児童館「輝らキッズ」開館 H29.4.3〉

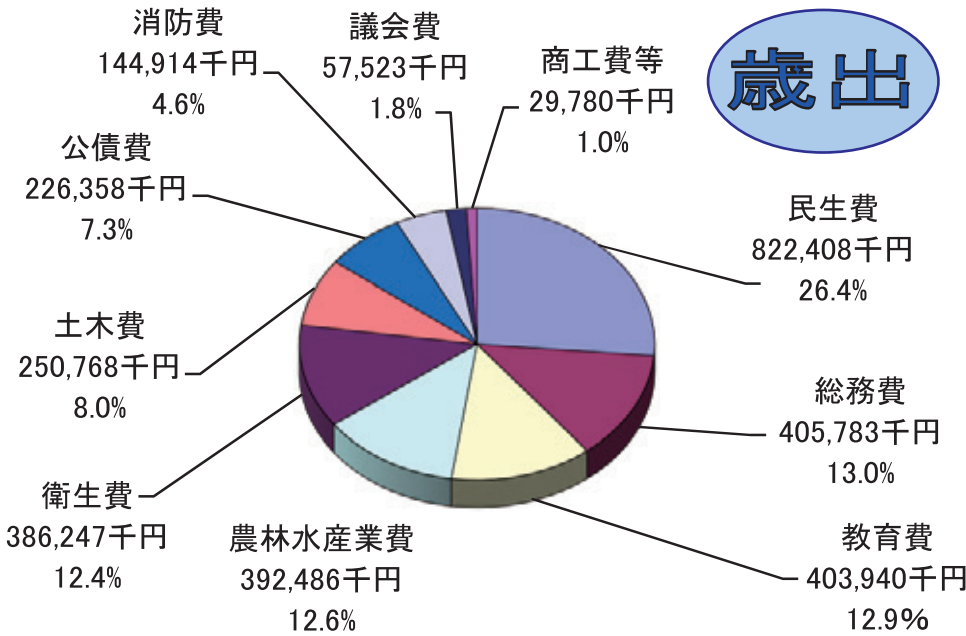
◇ 第1回定例会 平成29年度当初予算	2~3
◇ 条例	4
◇ 平成28年度補正予算 行政報告	5
◇ 一般質問	6~8
◇ 常任委員会報告 児童館落成式	9
◇ 議会のうごき 編集後記	10



なかじぞうさん

新年度予算 健康増進と介護予防 子育て支援をさらに推進

第1回 定例会



第1回議会定例会は、3月6日から15日までの会期で開きました。議案は、条例の制定と条例の一部改正が11件、平成28年度補正予算8件、平成29年度当初予算8件が村長から提出され、原案のとおり可決しました。また、条例の一部改正による議員発議1件と陳情に伴う発委1件が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。一般質問では、3名の議員が登壇し、集落排水事業、まち・ひと・しごと創生総合戦略、休日の証明書発行窓口の開設など村の考えを問いました。

一般会計の 重点事業

新年度予算は、健康増進と介護予防、子育て支援を重点に、安全安心な村づくりを目指しています。主な事業は、次のとおりです。

屋内ゲートボール場改修に1億6880万円

屋内ゲートボール場の改修は、リハビリ・フィットネス型施設整備を行うためのもので、

施設の完成後は、筋力トレーニングやリハビリ運動などプログラムが実施できるようになり、健康づくり、介護予防活動を目的とした事業です。

児童館事業の充実に4800万円

子育て支援では、保育所・幼稚園の無料化の継続と児童館を活用した放課後児童クラブの充実と併せて教師経験者等による小中学生の学習支援を行う計画です。

農道整備に4350万円

農林業関係では、農道整備が松崎月山地区他3路線で改良舗装工事。ふくしま森林再生は、吉岡、二子塚の山

林間伐等の事業で6530万円、農政関係では、多面的機能支払交付金ほか3事業で4070万円が予定されています。

村道整備に9000万円

村道の整備では、村道元村後山線、御蔵場本法寺裏線の改良工事と狭あい道路整備の入江地区の整備が予定されています。

そのほか、消防ポンプ自動車購入費に2110万円、学校関係では、滑津小学校給食配膳室の改修、吉子川小学校、幼稚園の遊具改修工事等で2760万円、中学校のマレーシア修学旅行負担金で740万円が予算化しました。

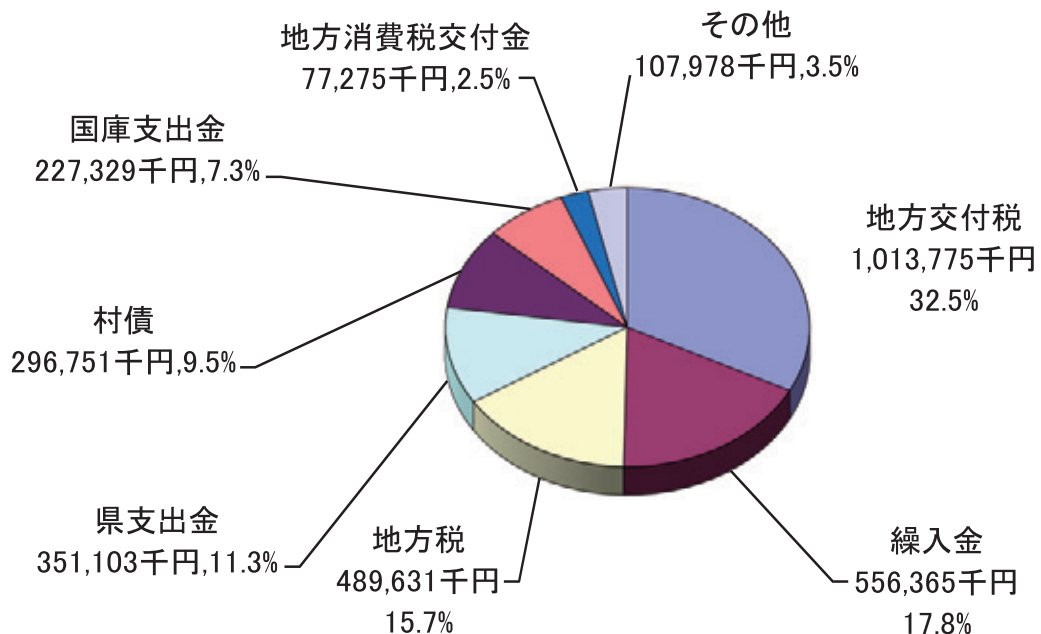
安全安心な村づくりに 31億2,020万円

一般会計当初予算額31億2,020万円（前年度比約24%減）を可決しました。

主な収入は、自主財源額（村税・使用料等）11億1,580万円（前年度比約3%増）、

依存財源（地方交付税、国県支出金等）20億440万円前年比約34%減）です。

歳入



○会計別当初予算

単位:千円 %

会計別	H29年度	H28年度	増減率
一般会計	3,120,207	4,138,821	-24.6
国民健康保険特別	663,050	670,959	-1.2
簡易水道特別	157,952	159,769	-1.1
土地造成事業特別	51,384	51,540	-0.3
農業集落排水処理事業特別	284,007	245,398	15.7
墓地会計特別	4,047	3,432	17.9
介護保険特別	457,752	450,018	1.7
後期高齢者医療特別	40,348	38,026	6.1
合計	4,778,747	5,757,963	-17.0



トレーニングマシンで運動する様子



保育所入所式後の説明会の様子

議決された条例

◇中島村課設置条例の一部を改正する条例

震災復旧、放射能除染業務が概ね完了したことによる生活支援対策室の廃止

審議結果 原案可決

◇中島村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

法律の一部改正に伴い、家族介護のための所定労働時間の短縮などの改正

審議結果 原案可決

◇職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法の一部改正に伴い、育児休業の対象となる子の範囲を拡大する旨の追加

審議結果 原案可決

◇議会議員の議員報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

県人事院勧告に伴い、議員の期末手当支給率の改正

審議結果 原案可決

◇村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

県人事院勧告に伴い、村長、副村長の期末

手当支給率の改正

審議結果 原案可決

◇村長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

県人事院勧告に伴い、教育長の期末手当支給率の改正

審議結果 原案可決

◇職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

県人事院勧告に伴い、職員の給与表、勤奨手当の期末手当支給率の改正

審議結果 原案可決

◇東日本大震災復興基金条例を廃止する条例

震災復興事業が概ね完了し、基金積立がなくなったことによる廃止

審議結果 原案可決

◇中島村税条例等条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、地方消費税、軽自動車税等の所要の改正

審議結果 原案可決

◇中島村児童館条例

児童館の完成に伴い、法律に基づき児童館の設置、名称、位置等を条例に定めました。

審議結果 原案可決

◇中島村介護保険条例の一部を改正する条例
消費税率の延期に伴い、特例により低所得者段階の保険料軽減を継続する旨の改正

審議結果 原案可決

条例質疑

○課設置条例の一部改正

問 木村秋夫議員

生活支援対策室を削るといいますが、放射線測定など残る仕事はどうするのか。

答

総務課長

今後は、仮置場の管理、食品の放射線測定検査など、建設課「生活支援対策係」として業務を継続します。業務は、分庁舎で行います。



児童館開館のテープカット

H28年度 一般会計補正予算

ふくしま再生森林事業など

2億3千万円が繰越明許

一般会計補正予算は、4億3378万円を減額補正し、予算総額35億5492万円を原案のとおり可決しました。

歳入の主なものは、村税3550万円、地方交付税2425万円等の増額補正、県支出金2億5137万円、村債1億1650万円等の減額補正でした。

歳出の主なものは、農林水産業費5157万円の増額補正、総務費1839万円、衛生費2億2569万円等の減額補正でした。

繰越明許費は、総務費で39万円、民生費で1682万円、農林水産業費で2億1320万円でした。

特別会計補正予算は、7会計中4会計が事業確定による減額補正で、2会計は保険料、繰入金などの歳入の増額によるものでした。

※繰越明許費とは、何らか事情により、その年度内に支出ができない経費について、翌年度1年間に限り繰越をして使用することができるものをいいます。

○H28年度会計別補正予算 単位:千円

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	3,988,714	-433,786	3,554,928
国民健康保険特別	678,917	-22,710	656,207
簡易水道特別	159,274	-2,326	156,948
土地造成事業特別	51,540	0	51,540
農業集落排水処理事業	250,129	-6,190	243,939
墓地会計特別	3,432	715	4,147
介護保険特別	494,925	-74,207	420,718
後期高齢者医療特別	38,026	2,255	40,281
合計	5,664,957	-536,249	5,128,708



増額 6364万円
農業基盤整備事業
農道整備3地区
(写真)二子塚西前地区



減額 2億百万円
除染対策費
生活圈森林等の実施
除染面積の減など

村長行政報告

除染対策は中間貯蔵施設の搬入が中心に

除染対策事業は、宅地除染は完了し、生活圏の森林除染や事業所の除染も実施してきました。除染事業は、平成28年度で完了予定です。今後は、仮置場の管理業務と仮置場から中間貯蔵施設への搬入が中心となります。

新成人67名に成人証書

1月7日中島村成人式が行われ、新成人67名に成人証書を手渡し、成人のお祝いをしました。今後大きく羽ばたき、中島村を担う人材として成長することを期待します。

マレーシア コタキバナル市を訪問

2月には、マレーシア コタキバナル市を訪問してきました。目的は、コタキバナル市長 楊文海(ヨウ・ブンハイ)氏との面会で、昨年スタートした中島中学校の修学旅行や今後の市民と村民レベルでの交流等について懇談してきました。

イナナムセカンダリースクールと中島の国際交流の必要性について、市長と意見の一致を見たところであり、今後の村政執行におおいに活かしてまいりたいです。また、その他、工事等の事業も順調に進んでおります。



小室 辰雄 議員

問 集落排水処理施設の稼働状況は？

答 処理場6ヶ所の平均稼働率約70%



集落排水処理施設

問

集落排水施設の稼働状況と処理の余裕状況について伺いたい。

答

村長

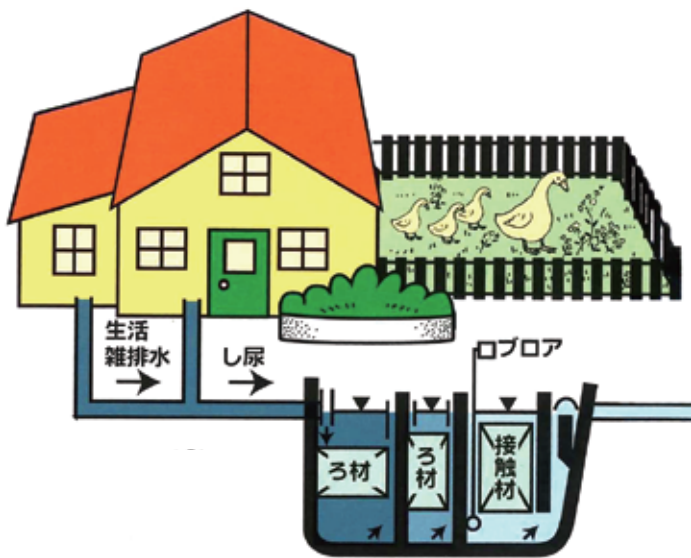
各処理場の稼働率と処理場の余裕状況は、一部の地区では処理能力が100%になっているが、6ヶ所の平均稼働率は概ね70%となる。

一般質問

ついでに。処理能力に余裕のある地区は、住宅建設を考慮し、普及に努めます。

施設は、建設されて数十年経過しています。が、主要機器は、耐用年数を考慮し、計画的に更新しています。施設の大規模改修にあたっては、補助事業を活用した機能強化事業に取り組んでいます。

合併浄化槽のしくみ



問

個人が設置している合併浄化槽に対する村補助金の内容と設置後の点検管理の指導について伺いたい。

答

村長

個人設置の合併浄化槽は、農業集落排水処理事業で対応できない地区の新築住宅につ

て、国の補助事業を受け、浄化槽を設置いただいています。浄化槽設置後の点検管理は、法律に基づき、設置者が行うことになっています。管理方法は、浄化槽清掃業者による点検、福島県浄化槽協会の浄化槽管理士による点検管理を行わなければならないとなっています。

合併浄化槽って何・なに？

個人の浄化槽で思い浮かぶのが、水洗トイレのし尿だけを処理する単独浄化槽だと思います。

合併浄化槽は、し尿はもちろんですが、台所の排水、洗濯、お風呂の排水、（これらを含めて生活雑排といいます）などを一緒に処理し、生活雑排水を浄化し、きれいな水にして放流するための施設です。

村の農業集落排水施設は、合併浄化槽を大きくしたものです。合併浄化槽の整備で快適な環境を皆さんの手づくりしましょう。





小林 均 議員

問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進捗は？

答 「移住定住・子育て支援、教育環境の充実」を推進

問

中島村まち・

ひと・しごと創生総合戦略が策定され、1年が経過したが、その進捗状況と今後の実現の見通しについてお示しください。

答

村長

総合戦略は、人口減少対策のため、4つの目標を掲げ、13の施策38の主要事業から構成されています。この一年目標を実現するため、次の事業を実施しました。

一つ目は、首都圏移住者に対しての「移住定住事業」、広域による「出会い、ふれあいイベント」などを実施しました。

二つ目は、「子育て支援、教育環境の充実」では、保育料の無料化の継続、教育環境の充実では、児童館の設置

などです。また、マレーシアへの中学校修学旅行も関係者のご協力により実施できました。三つ目の「しごとの支援、創出」では、農家の新規就農者への支援、農用地利用集積の支援、風評被害対策イベント、PR活動、農産物直売所の支援などの取り組みを行いました。

四つ目の「健康で安心して暮らせるまちづくり」では、行政区・地域づくり活動の支援を行うとともに、健康づくり介護予防支援のためのリハビリ・フィットネス型施設の整備に向け事業を行っています。今後も本計画が目標年度31年度に向けて達成できるように努力してまいります。



移住定住体験ツアー(そば打ち体験)

総合型地域スポーツクラブは運営スタッフ、財源などの確保が課題

問

中島村では、

総合型地域スポーツクラブの設立ができないのでしょうか。

答

教育長

今までに、スポーツクラブの設立に至らなかった主な要因は、指導者、運営スタッフと運営に必要な財源をどのように確保するかの課題が解決できなかったからです。

4つの視点で

事業を展開

問

中島村第5次

総合振興計画の基本目標Ⅲに「子どもを育み生涯学べる村づくり」、基本目標Ⅳに「誰もが

いきいきと生活できる村づくり」とありますが、どのような視点で、この目標に取り組んでいくのか伺いたい。

答

教育長

基本目標Ⅲは、子育て支援、学校教育、生涯学習、スポーツ活動の4つの視点から、保育料の無料化、児童館の建設、国際理解教育の充実、文化財保存の整備などの事業に取り組んできました。

基本目標Ⅳでは、保健福祉課との連携により、村民が健康に関心を持ち、健康に関する意識の普及啓発や健康づくりの推進に努めているところです。



一般質問



小松 公雄 議員

問 休日の証明書発行窓口の開設は？

答 戸籍の届出業務は、事前連絡により休日受付

問

本村は、共働きを含めて勤めている人が多く、各種証明書を取得する時やその他役場に用事があるときは、休まなければならず、休日に窓口を開設していただけないかという声を聴きます。村の考をお聞きしたい。

答

村長

現在、休日の証明書発行は、実施していませんが、戸籍の届出業務は、事前連絡により休日受付をしています。平日来庁できない方は、代理人（委任状が必要）の取得や郵便による取得ができます。各種証明は、個人情報であり、証明書等はシステム化されております。情報管理上、職員の誰でもが発行することができません。今後は、平日窓口の

一般質問

延長や休日開設も含めて利用率、費用対効果等からも検討してまいります。

コンビニでの

証明書交付を検討

また、新年度からは、コンビニ（コンビニエンスストア）の公共料金等の収納業務を予定

していますので、これらの利用率や費用対効果も見ながら、コンビニでの証明書交付についても併せて検討したいと思います。

問

休日の開設は難

しい考えと受けました。しかし、近隣町村では、土日の窓口開設や就業時間延長を実施してい



窓口業務の様子

答

村長

職員の配置という観点からすると、担当職員もぎりぎりの体制でやっています。現在、窓口は2名の職員で行っています。その2名のパスワード等で、情

るところもありません。やれない理由ではなく前向きな答弁をお願いします。

税金等のコンビニ納付が4月から開始

平成29年4月からコンビニエンスストアから納めることができるようになりました。

納付できるのは、4月以降に発行されたバーコード印字のある納付書になります。

○コンビニ納付ができる税金

- ・軽自動車税、固定資産税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険税など。
- ・水道、農業集落排水、住宅使用料など。

○取扱コンビニ

- ・セブンイレブン ・ローソン ・ミニストップ
- ・ヤマザキデイリーストアー ・ファミリーマートなど

報管理システムを起動し証明書を交付しています。この2名で休日の対応は難しいというところで、今まで課題があったと思います。できるだけ住民サービスの観点から窓口開設あるいはコンビニでの証明書発行について検討してまいりますので、ご理解いただきたいと思います。

常任委員会報告 産業建設常任委員会



産業建設常任委員会へ付託のあった陳情1件について、
3月6日に委員会を開催し、内容を審査しました。
また、意見書については、関係機関に提出しました。

◎審議結果

件名及び要旨	陳情者	審査結果	意見
福島県最低賃金の引き上げと 早期発効を求める意見書	日本労働組合総連合会 福島県連合会白河地区連合会 議長 畠山 史信	採 択	願意妥当

中島村児童館 「輝らキッズ」が完成

遊びの場・交流の場・学習の場の児童館へ

児童館「輝らキッズ」は、子ども子育て支援のための総合施設として整備されました。

児童の健康、豊かな情操教育を育み、基礎的な学力を身につけることを目標に3つの柱で運営されます。

児童生徒の健康と豊かな情操をめざして

児童館では、子ども教室、アルカディア友の会、世代間交流等の体験や交流を通して、児童の健康や豊かな情操を育む事業が行われます。

放課後児童クラブのさらなる充実

子ども子育て支援法が施行され、6年生までの受け入れが可能になったこと、施設が新しくなったことなどから放課後児童クラブの



放課後児童クラブが使用される内部

運営の充実を図り、共働きの保護者が安心して働ける環境づくりを推進します。

教師経験者等による学習支援の実施

子ども達の長期休業中や土曜日を活用し、教師経験者や塾講師による学習支援が行われます。

「輝らキッズ」命名の緑川君に表彰状

児童館名称は、公募



輝らキッズの命名者の緑川君

が行われ、応募総数205点の中から選ばれました。

「輝らキッズ」は、緑川祐典君(滑津小学校2年生)が命名。

「輝ら里」の前の施設であること、子ども達ひとりひとりが輝けるような施設であってほしいという願いが込められています。



議 会 の う ご き	
2月21日	・県町村議会議長会定期総会(福島市)
24日	・白河地方広域市町村圏整備組合議会定例会(白河市)
27日	・議会運営委員会
3月 6日 ～15日	・第1回議会定例会
13日	・中学校卒業式
17日	・幼稚園卒園式
18日	・保育所修了式
23日	・小学校卒業式
4月 3日	・児童館落成式
4日	・保育所入所式
6日	・小・中学校入学式
9日	・全村一斉クリーンアップ事業
11日	・幼稚園入園式
23日	・県消防協会白河支部春季連合検閲(白河市)
27日	・広報編集委員会

○3月18日
保育所修了式



○4月3日
児童館落成式



○4月11日
幼稚園入園式



叙位伝達

故折笠三吉氏へ

4月25日役場において、今年1月に逝去した元村議会議員の折笠三吉さん享年71歳へ地方自治振興の功績をたたえ正六位の伝達式が

行われ、野地誠県南方振興局長が妻の幸子さん、長男伸幸さんに位記を贈りました。折笠さんは、村議を昭和62年から8期28年間在職し、議長を平成15年から2期8年間務めました。

滑津原でふれあい祭り

《 明るく笑顔ある文化の里
桔梗が原をめざして 》

3月26日(日)滑津原行政区では、地域の郷土愛を育むことを目的に、「なめつ原地域ふれあい祭り」を開催しました。



…議会を傍聴してみませんか…

第2回定例会は6月9日開会を予定

議会傍聴の手続きは、住所・氏名等を記入するだけで済みます。ぜひお出かけください。詳しくは、議会事務局に問い合わせください。

電話 5213486

編集後記

最近、世界の動向が気になっています。頭上から化学兵器を落とされ死んでいったシリアの子供達、テレビに目を向けるのも辛いものがあります。いつの時代になっても、このような現実はあるんですね。子供達が、可哀そうで仕方がありません。未来に希望があるはずなのに、一瞬にして命が奪われ、死んで行ったのです。そんな恐怖を抱きながら、毎日を過ごしているシリアの人々。

一方では、独裁政治を行う北朝鮮では、核兵器やミサイル開発で、いつでも戦闘態勢を視野に入れていきます。戦争になれば、日本への影響も計り知れないものがあります。どんな世界でも子どもたちが犠牲になるのは、見るに堪えがたいものです。広報編集委員 小林 均